

半 布 里

＝学校の教育目標＝
美しい心を持ち 自ら考え
たくましく 実践する子

今、子どもの姿を見つめて！

校長 堀部 千治

11 月に起きた児童の交通事故で、皆様方に変なご心配をお掛けしました。幸いにも児童は順調に回復しており、安堵しているところです。学校では、このような事故が二度と起きないように交通安全指導の徹底に努めていきますが、ご家庭におかれましても日常の自転車点検や交通ルールがしっかりと守れているかの見届けをしていただきますようお願い致します。

さて、いよいよ 12 月です。12 月は学習面や生活面でのまとめの時期です。子どもたちの姿をよく見つめ、よさをほめて認めて、さらに伸ばすための取組を考え、冬休みの過ごし方につなげていきたいと思います。

これまで、富加小学校では、学校の教育目標「美しい心を持ち 自ら考え たくましく実践する子」を目指して、生き生きと活動する子どもを育てることに、一生懸命取り組んできました。本校のこだわり活動として全校で取り組んでいる“ぴかぴか掃除”では、時間前に掃除場所に行き、あいさつをしてから黙って掃除する姿が多くなってきています。また、“明るい歌声”では、どの学級でも朝の会や帰りの会で取り組んでいる成果もあり、美しい歌声が校舎内に響くようになっていきました。これらは、一例にすぎませんが、子どもたちの着実な成長を感じています。

学習面では、国語科を中心に“意欲的に取り組み、思いや考えを進んで伝え合おうとする子”を育てることに取り組んできました。まだまだ不十分な面もありますが、積極的に自分の思いや考えを話す子が増えてきたのも事実だと思います。

この 2 学期の締めくくりとして、今までの取組を振り返り、「目標としてきた力がついたか。」「思いやりの心が育ってきたか。」など、子どもの姿をよく見つめ、成長したところをほめたり、もう少しのところを励ましたりすることは、さらなる確かな力と心を育てる上で必要なことだと思います。

子どもの心を育て、力を伸ばすために大切なことは、それは「自信」をつけることです。子どもたち一人一人には、頑張ったことやできるようになったことがいろいろあります。子どもの姿をよく見つめ、小さなよさも、ほめて認めてやることで「自信」につなげていきたいものです。

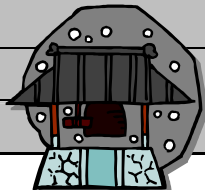
各家庭におかれましても、年末・年始を控え、その準備のために忙しい時をお過ごしになると思いますが、このような時こそ、落ち着いた中で子どもの姿を見つめ、成長をほめていただけるとありがたいです。11 月末から行っている個人懇談会では、2 学期の子どもたちの学校での学習・生活の様子を伝えますので、保護者の皆様とお子さんと考える機会にしてください。そして、新年の新たな目標を立てさせることにつなげたいものです。子どもたちにとって、一年間をしっかりと振り返って締めくくることが、新しい年のよい船出のためにも大切なことです。そのためにも、ご家庭でもきめ細かく関わっていただけるとありがたいです。



3 年生：国語の授業の様子

12月の行事予定

日	曜	校 内 行 事 等
1	木	個人懇談会② 交通立ち番A
2	金	個人懇談会③ 読み聞かせ チャレンジテスト（漢字）
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	児童集会（青空） 委員会（5・6年生4時下校）
7	水	レインボーリング フッ素洗口 安全点検
8	木	わがクラス掃除じまん週間 （～13日まで）
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	フッ素洗口 ロング昼休み
15	木	交通立ち番B ぴかぴか掃除週間（～22日まで）
16	金	
17	土	工事のため富加小学校停電
18	日	工事のため富加小学校停電
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	大掃除 ワックスがけ
23	金	天皇誕生日 
24	土	
25	日	
26	月	終業式（給食あり）一斉下校 15:15
27	火	冬休み（～1月9日まで）
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	



2学期の「こどものすがた」について

1 1月末から個人懇談会を行わせていただきました。それに伴って、本校では、2学期の「こどものすがた」の所見の記述を省略させていただいております。（但し、総合的な学習の時間の評価は、記述による）個人懇談でお話しさせていただきましたことを、ご家庭でお子さんともう一度話題にさせていただいて、2学期のまとめと冬休みの課題作りに役立ててください。

遠方からたまたま富加町を訪れた方々から、富加小学校の子どもたちの素晴らしい姿を、褒めていただきました。

<笑顔のあいさつ>

1ヶ月ほど前、名古屋在住の女性から、次のような内容のお電話をいただきました。「先日、私が富加町の友人宅を訪れたとき、道ばたですれ違った高学年の男の子数人が、『こんにちは』と笑顔であいさつをしてくれました。私は、とてもさわやかな気持ちになりました。私の地元では、なかなか子どもたちはあいさつができません。富加町はすてきですね。」



<思いやりのお餅>

先日の町民祭りにお越しになった関市在住の男性から、次のような内容のお手紙をいただきました。「私は首から下が不自由で握力がなく、餅をどうしても自分の手で受け止めることができませんでした。残念な思いで帰ろうとしたとき、5年生の女の子が『おじさん、これ上げます』と言って紅白餅を渡してくれました。とても嬉しかったです。名前は分かりませんが、校長先生褒めてあげてください。」

どちらの出来事も、本当にすてきなお話ですね。地域に出ても、子どもたちがこうした姿を発揮できるのは大変嬉しいことです。

日暮れが早くなりました。交通安全に十分気をつけ、4時30分までには帰宅するように、家庭でも約束を確かめてください。

